

中学生対象

65歳以上対象

子宮頸がん・肺炎球菌 予防接種の助成を始めます！

近年、任意の予防接種が次々に認可され、医療機関で接種ができるようになってきました。しかし、任意接種のため、自費で接種しなければなりません。

牛久市では多くの方への接種機会の確保や、健康を守るために任意の予防接種の費用助成を実施しています。平成19年におたふくかぜ予防接種を、平成20年にはみずぼうそう予防接種の助成を開始しました。

そして、今回、子宮頸がん予防接種・肺炎球菌予防接種の助成を開始します。予防接種の意義を理解の上、多くの方に接種していただきたいと思っております。

保健

センター
通信

市健康管理課(保健センター内)
☎内線1742~1744

子宮頸がん予防にはワクチン接種と定期検診が重要です！

子宮頸がん予防接種費用助成について

対象者 中学1年生～3年生女子(平成23年度以降は中学1年生女子対象)

助成額 全額助成(1回あたり15,500円 一人あたり3回 計46,500円)

※対象者へは、ご案内・予診票を11月上旬に通知します。(公立校の方は、学校を通じて配布。私立校の方は郵送します。)

子宮頸がん予防ワクチンについて

発がん性 HPV の感染を防ぐワクチンがあります。

子宮頸がん予防ワクチンは、すべての発がん性 HPV (ヒトパピローマウイルス) の感染を防ぐものではありませんが、特に、子宮頸がんから多く見つかる HPV16型・18型の2つのタイプの発がん性 HPV の感染を防ぐことができます。

子宮頸がん予防ワクチンを接種しても、HPV16型および HPV18型以外の発がん性 HPV の感染は予防できません。また、接種時に発がん性 HPV に感染している人に対して、感染しているウイルスを排除したり、発症している子宮頸がんや前がん病変(がんになる前の異常な細胞)の進行を遅らせたり、治療することはできません。

子宮頸がんとは

子宮頸がんはすべての女性に起こりうる病気です。

子宮頸がんは、どの年代の女性にも見られますが、特に最近20～30歳代の女性に急増していて、年間約15,000人の女性が発症していると報告されています。

子宮頸がんは初期の段階ではほとんど自覚症状が無いため、しばしば発見が遅れます。発見されたときには、病気が進行していることもありますので、予防と早期発見が重要となります。

子宮頸がん予防接種講演会

今回、子宮頸がん予防接種の公費助成を開始するにあたり、子宮頸がんおよび予防接種に対する理解を深めていただくために講演会を開催します。ぜひご参加ください。

日時 12月5日(日)午後1時30分～3時
(午後0時30分～開場)

場所 市保健センター研修室(2階)

講師 長田佳世先生(つくばセントラル病院)

定員 100人

申し込み方法 電話または市保健センター窓口でお申し込みください。

申込締め切り日 12月3日(金)

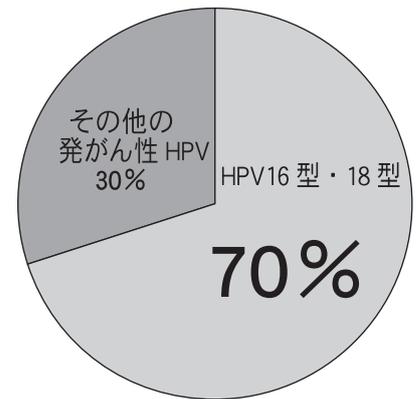
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申し込み・問い合わせ 市健康管理課(市保健センター内) ☎内線1743

子宮頸がんの原因は

子宮頸がんは発がん性 HPV の感染が原因です。

発がん性 HPV は、性交経験のある女性の約80%が一生に一度、感染するといわれる、とてもありふれたウイルスです。発がん性 HPV は15種類ほどのタイプがあり、その中でも HPV16型、18型は子宮頸がんから多くみつかるといわれるタイプで、約70%を占めています。発がん性 HPV は感染しても多くの場合、感染は一時的で、ウイルスは自然に排除されますが、感染した状態が長い間続くと、数年～十数年かけて前がん病変(がんになる前の異常な細胞)を経て子宮頸がんを発症することがあります。



子宮頸がん患者から見つかる発がん性 HPV の割合

20歳を過ぎたら、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。

子宮頸がん予防接種は、すべての発がん性 HPV 感染を防ぐものではありません。感染を防ぐためには、予防接種だけでなく定期的に検診を受けることが大切です！
(検診をご希望の方は、市保健センターへご連絡ください)

肺炎予防のために65歳以上の方は肺炎球菌予防接種が有効です！

肺炎球菌予防接種費用助成について

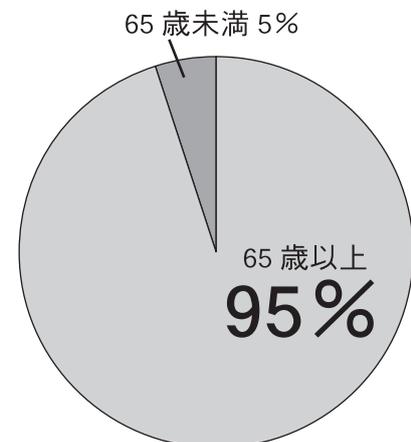
対象者 ①65歳以上の方、②60歳以上65歳未満の身体障害者手帳内部障害1級の方

助成額 3,000円公費負担。3,000円を超える分は自己負担となります。

※対象者へは、ご案内・予診票を11月上旬に郵送します。※費用助成は、生涯1回のみです。

肺炎球菌予防接種について

- ・ 予防接種は、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し重症化を防ぎます。(すべての肺炎を予防するものではありません。)
- ・ 接種してから免疫(抗体)ができるまで、平均でおよそ3週間ほどかかります。
- ・ 1回の接種で5年以上免疫が持続するといわれています。



肺炎が原因で亡くなる方の年齢割合

※厚生労働省：人口動態統計年報
主要統計表(平成20年)より

肺炎の原因菌は

肺炎の主な原因菌1位が肺炎球菌です。

肺炎は、日本人の死因の第4位です。また、肺炎で亡くなっている方の約95%が65歳以上の方です。

肺炎予防のために

1. 規則正しい健康的な生活を心掛けましょう
2. 禁煙をしましょう
3. 誤嚥(ごえん)を防ぎましょう
4. 口の中を清潔に保ちましょう
5. 基礎疾患を治療しましょう
6. 予防接種を受けましょう

歯周疾患検診を受けましょう！

節目検診！このチャンスをお見逃しなく！！

検診の対象者は…

30歳・40歳・50歳・60歳・70歳・80歳の節目の方

(平成23年3月31日現在)



歯周疾患検診は、牛久市歯科医師会すべての医療機関の協力のもと実施しています。右のマークがある歯科医療機関で受診してください。



牛久市歯科医師会のマーク

歯周疾患検診は、10年に1度の節目検診です。歯周疾患検診では主に歯周病の進行具合を確認し、お口の状態を良くするためのアドバイスを行います。自覚症状が少なく普段なかなか歯医者さんに行かない人こそ、この機会をぜひご利用ください！

市は、平成21年度歯周疾患検診の受診者数は茨城県下1位でした。この機会にぜひ、あなたのお口の状態を確認してみませんか？対象となる方には、5月上旬ごろ受診券をお送りしています。

また、対象となる方で受診してない方には、お知らせのながきをお送りします。

歯周病って？どんな病気？

歯周病は、歯周病菌という細菌が出す毒素によって、歯茎がはれたり、歯を支えている骨(歯槽骨)が溶けてしまう病気です。痛みなど自覚症状があまりないまま進行し、歯茎の状態が悪化してしまふことが特徴です。症状が出たときは手遅れで、歯を抜かなくてはならない、などということになりかねません。

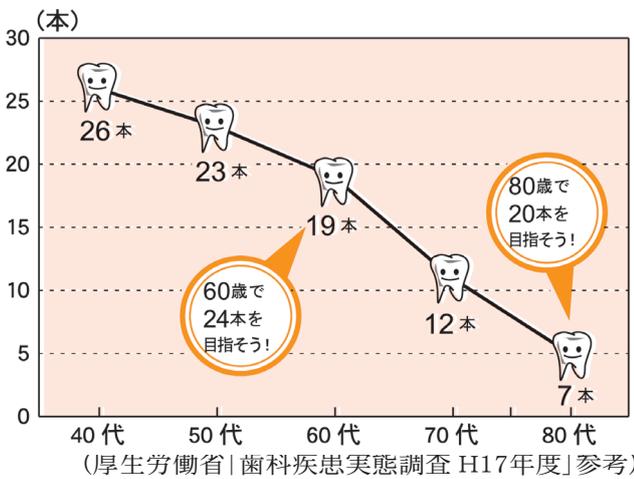
また、さまざまな病原菌が出す

毒素が口から体を回り、さまざまな臓器にも悪い影響を与えます。

成人の歯の数…年とともに歯が抜けていく!?!

歯を失う大きな原因は、虫歯と歯周病です！中高年の8割以上が歯周病にかかっているといわれています。「8歳になっても20本以上自分の歯を保とう」8020運動にもあるように、丈夫な歯と歯茎があなたの体の健康も守ってくれます。

問い合わせ 市健康管理課(市保健センター内) ☎内線1742



人権週間(12月4日~10日)

12月7日には、特設人権相談所が開設されます

昭和23年(1948年)12月10日、国連総会で世界人権宣言が採択されたのを記念し、毎年12月10日は「人権デー(Human Rights Day)」と定められました。

法務省と全国人権擁護委員連合会では、12月4日から10日までを「人権週間」として各種の人権啓発活動を行っています。人権週間に当たり、人権は自分と同じようにほかの人にもあることを考え、お互いに相手の立場を考え、豊かな人間関係をつくりましょう。

なお、市では人権週間にあわせて特設人権相談所を開設し、人権擁護委員が人権にかかわる心配ごとや困りごとの相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。

日時 12月7日(火)午前10時~午後3時

場所 市保健センター研修室(2階)

問い合わせ 市社会福祉課 ☎内線1771